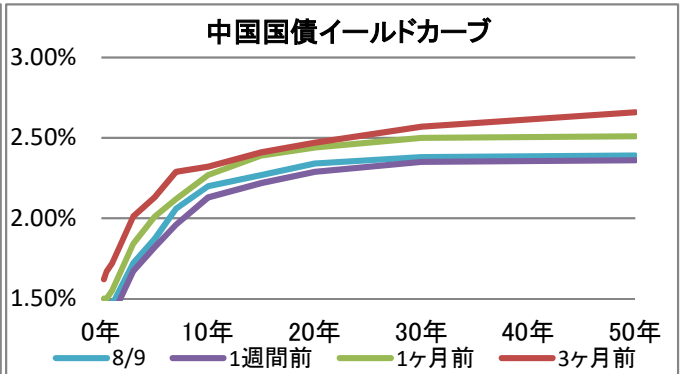
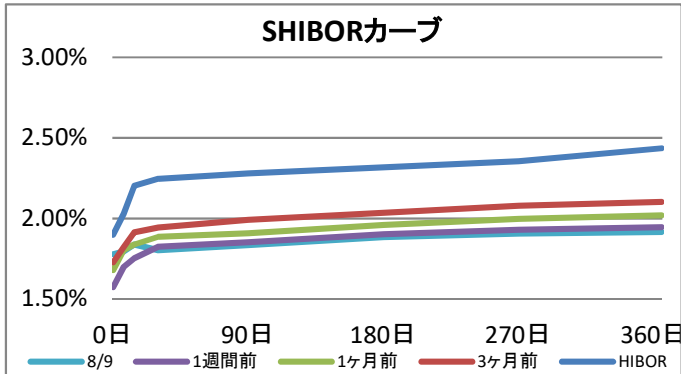


基準レート		2024/8/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1449	+0.0073
	JPY/CNY	4.8486	+0.0411
SHIBOR	3M	1.8335%	-0.0195%
国債利回り	10年	2.20%	+0.07%
上海総合指数		2,862.19	-43.15



(1) 概況

国際金融市場では、前週末からの金融市場の混乱が米国の景気先行きへの過度の悲観が後退する格好で収束し、株式市場と債券利回りが前週からの下げ幅を縮小し、外為市場では、ドル安修正相場となっている。

中国金融市場では、市場参加者が中国人民銀行の利下げ後の金利水準を探る中、中国人民銀行はオペによる資金供給を見送り、債券売りオペへの懸念が高まる状況で大手銀行が債券を売却しているとの噂等から、金利低下期待が一段と後退して債券利回りが上昇し、株式市場は反落し、外為市場では元が対ドルで7.11台まで急騰後に7.16台まで上昇幅を縮小している。

中国では、最高指導部の北戴河入りが噂され、政府の情報発信も限定的となる中、国务院が公表した「サービス消費の質の高い発展促進に関する意見」は、広範な消費に対する方針を示し、金融監督総局は「包摂金融向け貸出の職責を果たした場合の責任免除に関する通知」により金融機関の包摂金融への積極的な取り組みを呼びかけている。また、金融当局が過熱を懸念する債券市場に関しては、証監会が債券ファンドにデデュレーション報告を、中国人民銀行が一部金融機関に長期債保有状況の日報報告を要請した等の監督強化に関する報道が見られた。なお、中国人民銀行は、貨幣政策執行報告（第2四半期）を公表し、金融緩和による金融費用の低下等の政策効果を強調し、今後の金融政策については、中国の特色ある金融発展を実現し、金融強国となって質の高い発展と金融体制の改革、金融市場を整備し、対外開放を進め、金融政策手段の多様化の観点から国債売買を増加させる方針等を示している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日7,810.5億元に対し、リバースオペ212.9億元を実施し、7,597.6億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・財新PMI (7月) は、サービス業は51.2 (6月、52.8) と、19カ月連続での50上回りも、前月を下回り。好調な新規受注を背景に雇用も改善したが、外需は減速し、価格は横ばい。この結果、総合は52.1 (6月、51.2) と、製造業の悪化をサービスが補う格好で9カ月連続で50を上回っている。
- ・CPI (7月) は、+0.5% (6月、+0.2%) と、6カ月連続のプラスで、前月比でも上昇に転じているものの、前年の反動に加え、猛暑による生鮮食品価格の上昇の影響が強く、コアインフレの伸びは鈍化している。
- ・PPI (7月) は、-0.8% (6月、-0.8%) と、22カ月連続で、前月比でも2カ月連続のマイナスとなり、原材料価格の下落と価格競争の厳しさが指摘されている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7780%	1.7780%	1.8500%	
1W	1.7950%	1.8500%	1.9217%	1.7300%
2W	1.8390%	2.0000%	1.8700%	1.7300%
1M	1.8030%	1.9000%	1.9000%	1.7700%
3M	1.8335%	2.0000%	1.9200%	1.8000%
6M	1.8835%			1.8700%
9M	1.9060%			1.9000%
12M	1.9160%			1.9000%

中国人民銀行は、7日（水）に銀行システム内の流動性が合理的に潤沢であるとして、4年ぶりに資金供給を見送り、月初の資金吸収を急ぎ、過度の金利水準低下を抑制する姿勢を示している。外為市場での急激な元高や大手行の債券売却等による資金需給への影響も限定的で、資金調達ニーズが弱い状況に変化はなく、ターム物の出合いは極めて限定的な状況が続いている。

NCD市場では、利下げ後の金利水準を探る展開となる中、オペ見送りや債券売りオペ懸念等から金利低下幅を縮める状況となり、ターム物の金利水準は、1カ月が1.7%台半ば、3カ月が1.7%台後半、6カ月以降は1.8%台後半に上昇している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.44%	5.45%
1W	5.50%	5.52%
1M	5.60%	5.62%
3M	5.52%	5.55%
6M	5.55%	5.65%
12M	5.50%	5.60%

中国国内市場でも、FRBの金融緩和への期待から、長めの期間ではビッドが引く格好で金利水準が一段と低下する展開となり、ターム物の出し手が限定的な状況にも変化がないことから出合いは極めて限定的な状況が続いている。本土市場のターム物の金利水準は、次回FMOCが開催される9月を含む3カ月以降の期間で、出合いのないままに5.6%前後の水準に低下している。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.41%		1.78%	1.88%	2.02%
6M	1.49%		1.82%	1.90%	2.04%
1Y	1.46%	1.59%	1.89%	1.92%	2.06%
3Y	1.72%	1.84%	1.99%	2.03%	2.13%
5Y	1.87%	2.01%	2.04%	2.12%	2.25%
10Y	2.20%	2.28%	2.27%	2.32%	2.46%

米国債券市場は、過度の景気先行き懸念による早期かつ大幅な利下げ期待が修正される格好で、10年国債利回りは急反発。中国債券市場でも、景気先行き懸念は強いものの、市場取引に対する当局の監督姿勢が厳しさを増し、中国人民銀行がオペによる資金供給を見送り、債券売りオペが警戒される中で大手銀行の債券売却が噂される等、債券投資家には厳しい状況が続いている。この結果、10年米国国債利回りは3.94%（前週末比+15bp）に、10年中国国債利回りは2.20%（同+7bp）にそれぞれ上昇に転じており、利回り差は174bp（同+8bp）へと小幅な拡大に転じている。

中国債券のイールドカーブは、過去最低水準で全体的に小幅に上昇し、ややスティーピングし、利率債利回りの上昇により、クレジットスプレッドの縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1 M	-255.7 / -254.5
3M	-751.0 / -748.0
6M	-1,405.0 / -1,400.0
9M	-1,945.0 / -1,940.0
12M	-2,435.0 / -2,430.0

対ドル基準レートは7.1449と前週末比+73pipsのドル高元安、対円基準レートは4.8486と+411pipsの円高元安と、対ドルでの市場取引水準比元高水準の設定が続いている。中国国内市場では、FRBの金融緩和期待等を契機とするキャリートレードの巻き戻しと言われた元高が7.11台への上昇後に一服し、中国人民銀行が資金供給を抑制し、債券利回りの過度の低下への警戒感を示しているものの、元の上値（ドルの下値）は堅く、7.16台に戻す展開となっている。

先物は、米国の急激な金融緩和と中国金利の下げ止まりを織り込む動きから、金利差縮小を織り込む動きが一段と強まり、1年物は前週の-2700台から-2400台前半へと一段と縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.81%		1.67%
6M	1.81%	1.88%	1.66%
9M	1.78%	1.86%	1.65%
1Y	1.76%	1.84%	1.75%
3Y	1.78%	1.84%	1.75%
5Y	1.87%	1.94%	
7Y	1.94%	2.01%	
10Y	2.02%	2.10%	

金利スワップ市場では、債券利回りが上昇に転じたことを受けて金利水準は上昇に転じ、スワップスプレッドも短期を中心に拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。